

平成29年4月社会教育委員会議全体会議事録

日時：平成29年4月26日（水）午後3時～4時

場所：さんくす3番館 4階 大会議室

永井議長：定刻になりましたので、4月の社会教育委員会議を始めさせていただきます。今日現在の委員数は、11名です。本日の出席委員は6名で、委員数11名の過半数を超えておりますので吹田市社会教育委員会議規則第3条第6項の規定により本会議は成立していることをご報告いたします。それでは、次第にそって会議を進めさせていただきますが、会議に入ります前に、お手元に配布されております資料等につきまして、事務局から確認をお願いします。

小西課長：それでは、お手元の配布資料につきまして、確認させていただきます。

— 資料確認 —

永井議長：それでは、次第にそって会議を進めさせていただきます。次第の1「人事異動に伴う事務局職員の紹介について」事務局よりをお説明願います。

1. 人事異動に伴う事務局職員の紹介について

小西課長：平成29年4月1日付で、地域教育部課長級以上で人事異動のありましたものにつきまして報告させていただきます。地域教育部から出た者が1名、来た者が2名、部内昇格者が2名となっております。本日出席している者の紹介をさせていただきます。総務部広報課長の落が地域教育部次長として異動してまいりました。

落次長：— 挨拶 —

小西課長：都市計画部都市計画室参事の杉本が青少年室参事地域教育部青少年室青少年活動サポートプラザ所長兼務として異動してまいりました。

杉本所長：— 挨拶 —

小西課長：地域教育部文化財保護課主幹の西本が文化財保護課長となりました。

西本課長：— 挨拶 —

小西課長：本日出席させていただいている者は以上です。

永井議長：それでは、次第の2「平成29年2月議会の結果について」事務局より説明をお願いします。

2. 平成29年2月議会の結果について

小西課長：2月議会につきまして報告させていただきます。議案第25号、平成29年度吹田市一般会計予算中所管分ということで、当初予算になります。これにつきましては、原案可決されました。具体的には、留守家庭児童育成費がある児童福祉費で、1億9,423万8千円の増額、教育費社会教育費では、2,148万1千円の減額となり、地域教育部所管分では、1億7,275万7千円の増額で可決されております。また、議案36号、平成28年度吹田市一般会計補正予算(第7号)中所管分につきましては、平成28年度予算のうち執行されなかった不用額につきまして、原案可決されました。以上でございます。

永井議長：ただ今の説明で、何か質問はございませんでしょうか。次に、次第の3「平成29年5月議

会について」事務局より説明願います。

3. 平成29年5月議会について

小西課長：平成29年度補正予算の概要につきまして説明させていただきます。まず民生費児童福祉費留守家庭児童育成費では、18万5千円の増額で留守家庭児童育成室の運営委託事業者選定にかかる委員報酬を計上しております。続きまして公民館改修費として、1千93万6千円の増額で山手地区公民館移転建替えに伴う電柱移設工事にかかる負担金を計上しております。(仮称)健都ライブラリー建設費につきましては、3千888万6千円の減額となっており、実施設計委託料などの減額と基本設計の修正委託料の追加を計上しております。また、健都ライブラリー整備事業にかかる実施設計業務につきまして、平成29年度から30年度にかけての債務負担行為を追加しております。もう一点条例改正ということで、留守家庭児童育成室の運営委託事業者選定について条例改正をするかたちになっています。続きまして、それぞれの議案につきまして所管より説明させていただきます。

脇谷課長：— 資料説明 —

小西課長：— 資料説明 —

西尾館長：— 資料説明 —

永井議長：ただ今の説明で、何か質問はございませんでしょうか。電柱の移設については、むこうにしてみられないのか。

小西課長：今回は市が建てることになるので、元から電柱がその土地に在ってそれを購入している関係があります。当初は、関電とNTTに移してもらえないかという話もさせていただいたのですが、基本的に原因者負担ということで、市がお金を出せば移設するというかたちになっています。

永井議長：他に質問はございませんか。次に、次第の4 北摂7市3町による公立図書館広域利用に関する協定について事務局より説明願います。

4. 北摂7市3町による公立図書館広域利用に関する協定について

西尾館長：— 資料説明 —

永井議長：ただ今の説明で、何か質問はございませんでしょうか。

永井議長：新たにカードを作るのですか。それとも吹田のカードで利用できるのですか。

西尾館長：それぞれの市町村に行っていただいて、そのカードを作っていただくことになります。

永井議長：今までは吹田市以外の方は、吹田市でカードを作れなかったのが、吹田市のカードを作れるようになったということですね。

西尾館長：はい、そうです。今までも、豊中市、摂津市、大阪市とは、限られた館ですがしてありました。さらに拡大して、7市3町に広げたものです。

永井議長：全館バラバラなのですか。

西尾館長：吹田のカードは一緒です。普通の図書館のカードですが、色を変えています。広域の方は、条件が違いますので色を変えて作ります。吹田市内の図書館は、一枚のカードでどこでも使

えることとなります。

永井議長：利用者の数は増えるのですか。

西尾館長：JR沿線の方からは、さんくす図書館を利用したいという声があります。箕面市の市民の方からは、北千里分室などを利用したいという声があると聞いています。

後藤委員：返却の場合はどうなるのですか。

西尾館長：返却は、借りたところの図書館になります。

永井議長：借りたところに返すということですね。

武藤委員：借りたところといっても、市内ならどこでもいいのですね。

西尾館長：市内ならどこでも結構です。

武藤委員：自分の市には返せない、借りた市に返すということですね。

永井議長：吹田市の中で、別のところに返していいのですか。

西尾館長：はい、そうです。

永井議長：他に何か質問はございませんか。なければ、次に、次第の5 平成28年4月～平成28年9月実施後援事業一覧について事務局より説明願います。

5. 平成28年4月～平成28年9月実施後援事業一覧について

小西課長：— 資料説明 —

まなびの支援課所管の事業で80事業、青少年室所管の事業で21事業です。スポーツ部門については、昨年度市長部局に移りましたので、その分、若干まなびの支援課分が増加しておりますが、全体としましては、減少しております。10月以降につきましては、次回6月の会議で報告させていただきたいと思っております。

永井議長：ただ今の説明で、何か質問はございませんでしょうか。私が委員になった8年前なら、半年で200件を超えるくらいありましたが、今、新しいのはあるのですか。

小西課長：一昨年もありましたが、大阪大学等で移植手術をするお子さん、海外で移植手術をする児童ということで、2件後援申請がありました。日本では移植手術が受けられない、あるいは時間がかかるので海外へ行かなければならないというお子さんについて、申し出があった場合後援というかたちにさせていただいています。お一人は、無事アメリカから帰ってこられました。もうお一人はアメリカで亡くなられたという報告をいただいています。高度医療の大阪大学や国立循環器センターが吹田にある関係もあり、一つは寄附というものもあるのですが、吹田市や吹田市教育委員会の後援を求めてくるようになってきているかと思われ。あと日本比較教育学会、これは大阪大学で行いますが、昨年は日本物理学会が関西大学でありました。こういうものについても吹田市の後援を申請されています。専門的な分野、生涯学習というよりレベルの高いものも上がってきているのが、最近の新しい傾向かと思っております。

永井議長：件数は、大分減っていますね。

小西課長：今年度は、スポーツの分がまるまる減っています。

永井議長：昔はよく分からないものも多かったです。他に何か質問はございませんか。後援については減らさないかという思いが8年前にはありましたが、必ずしもそうではないのかなと思っております。いいものに関してはどんどんやっていけば良いと思っております。ただ、承認を得ていますと

ということで、何か問題があったときに困るというだけで、必ずしも減らしていくことが良いとは思いませんが、ある程度は選択していただきたい。特に、イベントをするのに市の後援があるから大丈夫ですよと言われると、どこかで誤解を生むことがあるのかなと思います。そういうのがなければ、いいのかなと思います。申請されたところのチェックはされていると思います。こんな団体が申請しているけれど、どんな団体か分からないというようなことはないですか。無いようですので、次第の その他ということで事務局より説明願います。

6. その他

・平成29年6月までの地域教育部のイベントについて

西田参事：— 資料説明 —

新成人応援事業ということで、北摂七市新成人応援デーを実施しました。2月の会議でもご案内しましたが、改めて報告させていただきます。例年成人祭の時に、記念品としてミニ写真アルバムをお渡ししていますが、見直しをし、その代わりにサッカースタジアムが完成したことから、ホームゲームに新成人を無料で招待するという事業をさせていただきました。先週の金曜日、4月21日の午後7時のキックオフの大宮戦を、通常前売り2,500円を4割引きの1,500円でガンバ大阪が北摂七市の新成人を優待され、この1,500円を本市が負担して無料招待しました。新成人3,757人全員にはがきで案内させていただき、320人の方に事前に観戦希望をいただきました。当日141人が参加されました。はがきで参加できない理由をアンケートさせていただいたところ、「別の予定がある」というのが一番多く、その他「興味がない」という回答もありました。ただ、参加者の7割の方が、スタジアムに行くのが初めてだという回答をいただき、このことが事業の趣旨にも合致し、今後のファンの獲得などにつながっていくのかと思います。継続していくことで成果が上がっていくのかなと思います。29年度の予算編成において、トップランナー枠の位置付けであり、今後次年度の実施に向けて、効果検証をしっかりとやっていきたいと思っています。青少年指導の立場で川上副議長や他の青指の方にも来場していただきました。ありがとうございました。

— 野外コンサートチラシの説明 —

永井議長：サッカーの件ですが、少しさびしいなという気がします。10歳の子ども達を呼ぶというのをやるというのは、その世代が二十歳になった時にどうかということで

木戸部長：そうです。ミニ成人祭というか、小学4年生を対象に、

永井議長：その子たちが二十歳になるまでは頑張ってみて、その結果がどう変わるか、

木戸部長：今回我々も、もう少し反響があるのかなと思っていたのですが、ガンバ大阪がアジアカップに勝ち進んだので、急遽J1の試合がこの金曜日になりました。土曜日だったらもう少し来てもらえたかと思っています。あくまでガンバ大阪の協力で、この日に招待しますということで、こちらから選べないので、セレッソ戦とか、レッズ戦とかに招待してくれるともう少しあるのかと思いますが、そこまでは言えない部分があります。ただ、こういうことをやり始めたということを広げていくことで、吹田の新成人が、後日試合に無料招待してくれるということが広がっていけば、徐々に増えていくのかなと期待しています。今回行った新成人と話をさせてもらいましたが、たまたま大宮戦ということで今最下位のチームだったので

が、ガンバ大阪が6点取りました。サッカーで6点取るということはなかなかないのですが、身近でシュートが見れたということで、非常に感激して喜んでいたという声がありましたので、これを徐々に広げていきたいと思えます。

武藤委員：今までの写真アルバムを配っていたということ、予算的に比べると随分と掛かるのでは。

木戸部長：そうです。今回300席くらい買わせていただきましたが、そうなるミニアルバムより高くなります。予算は、3,000人来て大丈夫なように確保していたのですが、使ったのは350人分くらいなので、結果としてはミニアルバムより安くついたのかなと思っています。

川上副議長：ただサッカーに興味の無い子は、そういう成人祭の時に招待と言われても、というところが、あるのでは。

木戸部長：今後の方策として、決定ではないのですが、サッカーのその日に都合の悪い人には、たとえば観覧車の券をあげるとか、そういう柔軟性を持てるといいのですが、予算を確保していくのが、

武藤委員：いない人はいるだろうし、

前田室長：成人祭に記念品を配っている市は、北摂でも少なくなっていて、記念品を配るのが当たり前ではなくて、残しているところが逆に少なくなっています。何を配っても嗜好品であり、アルバムにしても「ダサイ」とか、「最近写真は撮って紙に印刷なんかしない」、「スマホの時代だ」という人もいて、何にしようかなという悩みもあり、今回はその形に変えさせてもらいました。記念品は、何にしても全員が満足するというのは難しいと思えます。

木戸部長：毎年写真立てであったり、ボールペンであったり、その後ミニアルバムという形で引き継いでいます。市民の声で、何件かは、こんなしょうもないものという声がありましたが、今回記念式典の際に記念品を入れませんでした。それに対する苦情は今のところありません。そこはホッとしています。

永井議長：ここに書かれているように、郷土愛という意味で、吹田市で生まれ育ったアイデンティティとして二十歳の成人式を盛り上げるというのは、ちょっと違うと思えます。私は、厳密に言えば豊中市ですが、万博の近くに住んでいたため、太陽の塔は子どもの頃から見ているので、それに対する愛着はあるのと一緒に、愛着を持たせていくという形をとっていくということ。サッカーを観ないから、観覧車でいいというのは話がずれていくのでは。欲しくないものやっても仕方がないので、欲しがっている人が300人でも、30人でも構わないので、それを続けていくということがいいのではないですか。

小西課長：先ほど議長が言われた10歳の、4年生の件は、昨年度は1月に、2,000人が参加して、スタジアムで夢と希望を広げる出会い事業を実施しました。ユースの監督に話をさせていただいて、その時はピッチには行けませんでした。練習場でコーチの方とかとサッカーの体験をさせていただきました。本年度は、6月1日にさせていただきます。この日なら芝を張りかえる前なので、ピッチに降りてもらえるということ。これからは、定例で6月くらいにさせていただきます。今回は、今のところ参加者は2,000人です。6月前後は、ちょうど校外学習の時期にあたって、前回来ていただいた学校も、前日や翌日が校外学習にあっているということで、折り合いがつかず残念なこともありまし

た。次年度以降は、そのあたりを一緒に考えて、何とか出来るだけ多くの生徒がスタジアムに行けるようにしたいと思っています。

川上副議長：参加は何校ぐらいですか。

小西課長：36校中22校です。3,000人くらいかと思っていたのですが、タイミングが合わなくて、決まっている校外学習を優先せざるを得ないかと思えます。

川上副議長：児童数はどれくらいですか。

小西課長：3,700人くらいです。

永井議長：下げ止まりしますよね。

川上副議長：ばらつきがありますね。

西本課長：－ 田能村竹田展の説明 －

尾高館長：－ 資料説明 －

小西課長：報告は以上でございます。

永井議長：最後に木戸部長をお願いします。

木戸部長：先週の日曜日に吹田市の社会体育リーダーの総会がありました、私も42期生として参加させていただきました。片山市民体育館で、200人近い方が集まりました。総会の後、みんなでスリータッチビーチボールを楽しむという、親睦ということですが、ニュースポーツということで誰もが出来るスポーツということなのですが、つつい真剣になって、筋肉痛になるほど白熱して楽しみました。思ったのが、総会に200人くらい集まるのはすごいことだなと、地域で活躍しておられる方がこれだけおられる。そういった方が、社会教育の発展の一助をされておられると心強く思いました。

昨日、吹田市と吹田警察署との連絡会議を年4回させていただいていますが、特殊詐欺の話題がありました。昨年28年の一年間で、吹田市において70件、2億円以上の被害が実際に発生しているということで、警察も今、大阪府警として何とかしないといけないとプロジェクトを立ててしているので、吹田市も啓発活動に協力して下さいということです。特殊詐欺もいろいろ種類があって、市役所職員を騙って、払いすぎた医療費を還付しますとか、ATMで手続きしてくださいというのが還付金詐欺。息子さんの名前を名乗って、示談金が必要とか、今すぐお金が必要とかいうのが、オレオレ詐欺。最近では、老人ホームの入居とか、金融商品の取引に関して、名義を貸してくださいという案内が最初に来て、その後名義だけお借りできませんかと言って貸すと、その後電話がかかってきて名義貸しは犯罪ですよ、犯罪にしないために解決金が必要なので宅配便でお金を送るように言うてくる劇場型。何人もの役があって、執拗にだますように、年々手が込んでいっています。このような被害をなくすために、地域教育部として何が出来るのかと考えると、社会教育の一環として、公民館講座も含めあらゆる機会を利用して、こういうことが起こっていますという啓発を進めていきたいと思えますので、後藤館長にもご協力をお願いします。

後藤委員：やりました。

木戸部長：消費生活センターの相談員や警察にも声をかけて、何度もいろいろな場面で活用いただければと思います。今後も社会教育委員さんと地域教育部職員が一丸となって、吹田の社会教育のために頑張りたいと思えますので、よろしく願いいたします。

小西課長：今回は、6月に教育委員会での開催を予定しています。日程は、後日連絡させていただきます。

永井議長：それでは、本日の社会教育委員会を終了させていただきます。